



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・2015版ISO9001、14001を2019年1月に取得			3.9			6	7						12	13.3	14	15		
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・HP等で当社の環境情報を公開している。													12.6					
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工場やオフィスへの太陽光パネルの設置と利用している。							7.2								13			
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ														12.2	13	14	15		
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則内の一般服務基準項目においても利害関係者からの金品の授受いわゆる汚職、贈収賄禁止等を含む行動規範がすでに整備され、社内浸透が図られている。																		16 16.5
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則、コンプライアンス規程を掲げ、社員に周知している。																		16
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・専任部署を設け特許事務所と連携し、特許・商標等知的財産権の取得・管理している。									8.2 8.3	9								
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・2015年に特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針を定めて社内公表し、また特定個人情報取扱規程を整備済みである。																		16
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																			16
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・定期的取引先との意見交換の場(取引先懇談会)を設けて、適切な対応に取り組んでいる。					5				8		10		12	13	14	15	16	17
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・装置製品受注時に想定される装置のリスクの洗い出し、リスクの低減措置を装置設計に反映し、より安全で高付加価値の製品開発に役立っている。(デザインレビュー) ・装置製品の安全確保の観点で踏まえた取扱説明書を作成している。			3.9										12.4					
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・平成17年に品質方針を掲げ、顧客に満足して頂ける品質と信頼性の高い製品・サービスを提供するよう品質マネジメントシステムの継続的改善を推進し、展開している。また2015年版ISO9001を2019年1月に取得よりレベルの高い品質保証管理体制を構築している。											9							
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・装置製品の設計検討時には、ライフサイクルでの環境に配慮した設計を推進している。						6							12	13	14	15		
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・特定の社会や業界の課題解決をテーマとした製品開発を推進している。 (一例として①省エネ・生産性の高い製品(装置)の提供。 ②歯科医療関係で予防歯科の観点で、歯周病を低減することで、心臓疾患や脳梗塞低減に繋がるということから口腔内洗浄装置等の開発、販売展開をしている。) また新しい技術開発や新しい発想による製品・サービスを新しい市場や社会に提案できる機会を模索している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
32	<input type="checkbox"/>	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・ 地域自治組織に対する寄付支援、地域行事の駐車場の貸し出し。地域資源回収(リサイクル)活動への参加、ごみゼロ運動を基軸とした会社周辺の環境整備事業、排水処理施設の改善推進等を展開している。				4						9		11	12		14	15		17	
33	<input type="checkbox"/>	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・ 地域文化及びスポーツ支援の観点から、地域イベント、行事等への協賛金、寄付等展開している。 ・ 社員のボランティア活動等に対しては、就業規則に特別休暇扱いとする等明記。 ・ 次世代を担う人材となる近隣の中学生に就業体験という機会を有効に活用する場を提供している。				4								11			14	15		17	
34	<input checked="" type="checkbox"/>	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ											8	9		11	12	13				
35	<input type="checkbox"/>	【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・ 企業理念、経営ビジョン、社是、社訓については、全社的に明示し、掲示されている。 ・ 3年間の中期経営計画を策定し、部・課・個人に至るまで目標管理として落とし込み、四半期毎に進捗度評価の対象として全社的に進捗度と課題を抽出し取り組んでいる。										8	9								17
36	<input type="checkbox"/>	【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・ 2018年6月コンプライアンス規程を整備し、全体朝礼時においても社長から全社員に向けて発信し、全社員閲覧可能な社内HPに掲載している。																			16
37	<input type="checkbox"/>	【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・ 組織の役割、責任及び権限を明確にし、それぞれの担当、部署に責任者を任命し明確となっている。																			16
38	<input type="checkbox"/>	【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・ 適宜ステークホルダーと対話し、自社生産活動上で係るステークホルダーへの影響を考慮し、具体的な内容について適切に対応している。(外部コミュニケーションに記録)																		16	17
39	<input type="checkbox"/>	【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・ 中期経営計画策定時に、リスクを含むSWOTの分析、評価を実施し、計画的かつ適切に対応を図っている。定期的に経営委員会を開催している。																			16
40	<input type="checkbox"/>	【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・ 会社の社訓5つの中に『社会に対する責任』と明記され、社員ひとりひとりがこうした考え方を基に環境負荷の低減、文化芸術活動支援・スポーツ活動チームの支援等できうることから推進、展開している。																			16
41	<input checked="" type="checkbox"/>	【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・ 【予定】2019年度中にBCP(事業継続計画)の策定を検討している。											9		11		13 13.1				16
42	<input checked="" type="checkbox"/>	【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・ 長年にわたり検討を行い、2019年度に事業承継があった。										8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

【記載留意事項】

- ・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)